

別紙1（報告様式）

農林漁業現地事例情報「新たな加工品や販売手法による国産果実の販売への取組事例」

取組名：自家畑で収穫した「グズベリー・ハスカップ」を使用したジャムの販売
取組主体：ザ・グレートベア（北海道・弟子屈町）

1. 取組の背景

ザ・グレートベアでは平成10年よりほ場をJAより借入「グズベリー・ハスカップ」を栽培、ジャムを生産し経営レストラン、近隣ホテル等で提供している。メロンジャムについては作付農家よりハネ品を購入し生産している。ホテルの朝食で自家製パンを提供していたためジャムについても自家製品提供したいと思い、ジャムの制作を開始した。

2. 取組の具体的内容

取組内容に含まれる項目：（生産面 ・ 流通面 ・ 加工面 ・ 販売面）

平成2年よりレストラン経営を開始、平成10年よりほ場（2a）を買い上げ「グズベリー・ハスカップ」等の作付を開始しジャムを生産。「メロンジャム」については市場に出回らないハネ品の摩周メロンを使用し生産し、レストランで提供したところ好評だったため摩周湖農業協同組合の協力を得て近隣ホテル、観光施設、地元商店にて販売開始。
ハスカップジャム140g¥700 グズベリージャム140g¥600 メロンジャム140g¥700

3. 取組によって得られた効果

近隣ホテル等でジャムを提供したところ口コミで評判が広がり順調に売り上げを伸ばしている。インターネット販売も平成15年より開始し、リピーターも多く現在ではレストランの売り上げよりジャムの販売代金の方が勝っている。観光地であるため海外宿泊者の購入も増えているため現在は平成14年より英語版ホームページも開設している。

4. 取組に関する課題・問題点

手摘みで収穫しているため手間がかかる。今の経営体制（従業員数）ではこれ以上作付面積を増やすことは不可能であるため、ジャムの需要に追いつかない。特にグズベリーは病気がつきやすく収穫までの手間がかかる。

5. 今後の展開方向

大都市アンテナショップでの販売を思案中。平成23年より保存期間の長い製品の開発に着手。売り上げが好調に推移後、従業員を増やし生産量を増加予定。

6. 本取組に対する情報収集官署の所見

ブランド化している「摩周メロン」の市場に出回らないハネ品を有効利用し、商品化しているということで情報収集を行った。あまり果実の作付けがない地域で今後も新商品の開発を検討しているとのことで、この地域での果実拡大に期待している。

7. 本取組に関する画像



グズベリージャム
140g ¥600



ハスカップジャム
140g ¥700



レストラン内での販売の様子

新たな加工品や販売手法による国産果実の販売への取組に関する

公表の可否：	可	個人情報掲載の可否：	可	利益に関する情報掲載の可否：	否
外部からの問い合わせの可否：	可				

【情報収集官署】 北海道農政事務所 地域第五課

連絡先：0154-23-4401

<本事例の収集時期：平成23年2月>